



# 豊高だより

平成27年12月24日発行 通算38号  
埼玉県立豊岡高等学校

題字：加藤 愛彩（書道部1年）

## 巻頭言

校長 内田一雄

### ○異常気候変動に漸く世界が 協調

「核兵器による突然の破滅が人類にとって急性疾患とすれば、温暖化はじわじわと苦痛や危機をもたらす慢性疾患といえる」（12・15朝日新聞）。

人類の未来を守るために地球温暖化対策に関するパリ協定であるCOP21が画期的な歴史の合意を得て閉幕されました。京都議定書から大きく前進したわけですが、気候変動へ世界中の人々が脅威を感じたからでしょう。

「地球の誕生から現在までの46億年の時間を一年に縮めてみると、人類が姿を現すのは12月31日の晩。ローマ帝国の繁栄が11時59分45秒からの5秒間。産業革命後の地球環境の破壊に関しては、ほんの1〜2秒間の激変。零コマ何秒間で人類がこの地球の生命を抹殺しかねない」（12・5編集手帳）。21世紀を生きている我々人類の責任はとても重くないと誰でもが思うのではないのでしょうか。では、国や国民はどこからどのように手をつけていくことが考えられるのか、豊高生も普段から議論を重ねてほ

しいと思います。

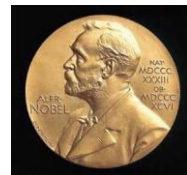
### ○テロの脅威に叡智を

「中国の福建省には超のつく大富豪がいる一方、パリには非常に貧しいフランス人がいる」（地図で読む世界情勢）。国連が「人間開発報告書」を発表しました。国民生活の豊かさを示すとされる人間開発指数によると日本は20位。首位はノルウェー、2位はオーストラリア、3位はスイス。また、世界では二億人強が失業し、一日2ドル以下で暮らす貧困層が八億三千万人と指摘。様々な理由で困窮している人々の氷山の一角でしょう。また、各国各都市ともテロに対する防御が非常に難しくなっています。脅威であり難問です。どのように対処していきます。ばよいのか叡智が求められています。

### ○埼玉に縁のあるお二人にノーベル賞

パリでCOP21が協議されていた頃、ストックホルムでは日本人のお二人がノーベル賞授賞式に出席されていました。イベルメクチンという抗寄生虫薬で視力を奪う感染症を抑えてノーベル医学生理学賞を受賞された大村智先生と、宇宙の開闢の謎に迫るべく標準理論を超える物理学の扉を開きノーベル物理

学賞を受賞された梶田隆章先生です。お二人の妥協することなく真実を極めようとする強い意志を少し分けていただきたいと思います。思うのは私だけででしょうか。それにしましてもお二人には親しみやすさや温もりを感じます。一流の方に共通の雰囲気ともいえるのでしようか。私たちも学びたいところですよ。



### ○三年次生大活躍、球技大会

三年次生の強さと上手さが際立った大会でした。総合優勝から上位のほとんどが三年次生でした。卒業アルバムのカメラマンさんが驚いていました。種目の多さと、二日間をフルに使っていることと、運営を生徒が仕切っていることについてです。私も同感です。

三年次生の皆さん、皆さんの持つ勢いは十分に見せていただきました。今後は卒業まで三か月、卒業試験後の家庭学習まで約一月、気持ちを切り替えて持てる力をすべてぶつけてください。くつきりとしたけじめをつけて、結果を出してください。ことを期待致します。二、一年次生も先輩たちに負けぬように自己開発自己実現に向けて最大限の努力をしてくれることを望み

ます。  
辛口をひとこと。開会式で「チームワーク」と「フアイト」と言いました。試合中、「フアイト」を逸脱した「横暴」といった行為が報告されました。特に審判に対する暴言や脅迫めいた罵詈雑言といった類です。残念です。ルールに則った競技がスポーツです。ルールを守らせるのが審判です。審判を脅すなど問題外の行為です。先輩は何を言ってもな

どと思つたとしたら大間違いです。来年度の球技大会への反省事項としていただきたいと思いま



は基本的に日本の学校文化の中では避けるべきものとされてきていたことだと思えます。昔から「ハレとケ」という言葉があります。折りますが、「けじめ」「折り目」を大切にしてきた日本文化の素晴らしいところだと思えます。豊高生が一流の人物になるように皆さんで意識していただきたいところ。念のために申し添えました。

### ○ビブリオバトルに8時間耐久学習会

二年次団は昨年に引き続き、土曜日の一日を丸々学習漬けにする「8時間耐久学習会」を実施しました。去年よりも参加人数は少し減ったようですが、参加した生徒たちの満足度は高かったと報告を受けています。勉強の基本は自学自習です。学ぶ楽しさや充実感を味わい、更に学び続ける体力を養う意識を持つてほしいと思いま



す。また、図書委員が主催で校内ビブリオバトルが

開催されました。読んでほしい本は沢山あります。一冊でも多く、また深く読み、知的刺激を受け、大いに感動し考える作業を重ねてほしいと思えます。これからの社会で期待されている能力の最たるものは、解のない問題に解を与える能力です。そのためには多面的重層的に思考を継続できることが必要だと言われています。

### ○充実した冬季休業を

部活動や補習に青春をぶつけない、行くと、来る年を想う冬休みを過ごしてください。三年次生のお正月は、センター試験後、私立の一般受験後、国立の前期・後期の試験後にやってくるので時間差でお楽しみください。全力を出し切ってください。期待しています。



### 各年次より

『備えあれば...』

一年次主任 橋本克洋

11月28日(土)の保護者会には、寒い中たくさんさんの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。当日は「三年次の科目選択(教務部)」「進路実現に向けた研究(進路指導部)」という題でお話しをさせていただきました。

三年次の科目選択についてはまだ二年次にもなっていないのに早いのでは、とお感じの方もいらっしゃると思います。しかし、二年次の六月には三年次の選択科目を確定しなければなりません。また、本校は単位制の学校ですので、選択の幅が広がっています。その分気を付けていただきたいこと、十分にお考えいただきたいことがありますので、早目の対応をお願いしています。

気を付けていただきたいこと、一点目が、必修科目です。高校三年間で必ず履修しなければならない科目が



あります。詳細は保護者会で配布(当日いらっしやれなかった家庭には生徒を通じて配布しました)した資料を参照して下さい。必修科目を履修していないと高校を卒業できません。二点目は、大学・学部によっては特定の科目を履修していることを受験の条件にしていることがあります。当然、履修していなければ受験できません。また、受験には直接影響は無いとしても、卒業後の進路を考えると履修することが望ましい科目もあります。

以上の理由で、三年次の選択が卒業や卒業後の進路に大きく係わってくる可能性があります。今後の人生に係わる大切な選択といつても過言ではありません。ですから、安易な理由で選択するのではなく、卒業後の進路を見据えて、何が必要なのか調べ、十分な時間をかけてじっくり考えていただきたいと思います。よろしく願います。

## 『二学期を振り返って』

二年次主任 天海雅充

11月11日から三泊四日の沖繩修学旅行は天候にも恵まれ、素晴らしい旅行になりました。旅行後「もう一度沖繩に行きたい」とても楽しかった」という生徒の声が

聞かれ、また、アンケート結果からも満足度の高い修学旅行になったことが分かり、ほっとしています。

初日は、那覇空港に着くと二グループに別れ、ひめゆり平和祈念資料館と平和祈念公園を訪れました。多くの生徒が資料館の展示物・ビデオや公園内の慰霊碑・慰霊塔を真剣に見学していました。戦争の悲惨さと平和の尊さを実感できたと思います。二日目は、太陽が光り輝く下、エメラルドグリーンの海で全員がスノーケリングとバナナボートを体験しました。歓喜の声を上げながら生き生きとマリンスポーツを楽しんでいた姿が今でも忘れられません。その後、美ら海水族館に向かいました。巨大なジンベイザメが泳いでいる水槽の前では、自然の素晴らしさにただ圧倒されるだけでした。そして、一日目の夕方から四日目の朝まで本部町の民家にお世話になりました。民家体験を通して沖繩の風土や文化に触れ、沖繩の人々と交流ができたことは貴重な体験になったようです。

修学旅行後すぐに期末考査があり、慌ただしい日程でしたが、二学期の成績も出ました。成績優秀者はほぼ固定化されています。一学期と比べると成績優秀者の人数は同じですが、成績不良者は半減しました。しかし、今回成績

不良者にならずに済んだ人の中に一・二学期の評定合計が7未満の科目がある人が多くいます。もし三学期に少しでも努力を怠れば単位の修得が危ぶまれます。今年度も「追認考査対象者なし」を目標に三学期も「勉強会」を実施したいと思います。参加対象者になった場合は前向きに取り組んでください。

新年を迎えると高校生活は残り約一年になります。残された時間を進路実現と高校生活の充実に向けて計画的に有効に使ってほしいと思います。それでは、良い年末年始をお過ごしください。

## 『いよいよ大詰め』

三年次主任 井口政則

二学期の皆勤者(欠席・遅刻・早退すべてゼロ)は117名で、一学期の188名と比べると約四割減。全体的に遅刻がずいぶん増えてしまいました。一方、学習面では優良者(評価の平均8.0以上)はわずか28名で、決して多いとは言えなかつた一学期43名の3分の2です。また成績不良者は29名と、一学期15名から倍増しています。いずれも進路に目途がついたことで気が緩んでしまう生徒がいる一方、受験勉強が生活習慣に影響しているということでしょうか。

卒業式まで80日を切りました。そのうち全員が登校するのは15日しかありません。高校生活もいよいよ大詰めというところです。

一般受験者には、苦手科目に歯を食いしばって取り組むことを勧めます。短期間での伸びしろに一番期待が持てるからです。但し、体調管理には細心の注意が必要です。インフルエンザの予防注射も受けておいたほうがよいかもしれません。絶対に避けなければ



◆ **3年年度末考査**  
**1月21日(木)**  
**～1月26日(火)**

◇ **卒業式**  
**3月11日(金)**

ならないのは、生活習慣が夜型になることです。焦りから夜中まで勉強したくなる気持ちはわかりますが、それが習慣化すると、朝型に戻そうとすることで負担がかかり、万全の態勢で本番に臨むことができなくなります。

進路に目途がついている生徒は、まずは高校生活最後の試験である年度末考査に向けて、しっかりと学習に取り組んでください。その上で四月以降の生活の準備期間として、進路先に関連した読書や調べ物をする等、やるべきことをよくよく考えた上で取り組んでほしいと思います。特に推薦やAO入試で大学に合格した者は、それがハンディにならないように、学力をつけておきましょう。

**保健室より**

養護教諭 吉田直美  
 菊池未来乃

◎冬の感染症について

寒さが厳しくなると心配なのが、インフルエンザとウイルス性胃腸炎です。下痢・嘔吐等の症状がある場合には必ず医療機関を受診してください。家族間や学校内での感染拡大防止のためにも手洗いとマスクの着用をしっかりとしましょう。インフルエンザ等の感染症は出席停止になるので、担任から感染症による出席停止届を受け取り学校へ提出してください。



◎健康診断治療票について

一学期に各健康診断を実施し、治療が必要な場合には治療票を配布しました。歯科健診については、全校でむし歯保有者は163人(約17%)にのぼります。歯科について、12月1日現在、歯科健診治療票が返却されていない人には健康診断のお知らせを再発行しました。歯科健診に限らずまだ治療が終わっていない人は、冬休みを

利用して受診しましょう。特に、三年次生は高校生活最後の定期健康診断の結果です。治療後は保健室に治療票を返却してください。

◎二学期を終えて

暑い中始まった二学期も冬を迎えました。たくさん行事があった二学期の保健室来室状況は、8月31日～12月11日までの集計で来室者520人。一日平均7.5人です。

また、保健室来室者に生活習慣等を聞いていくと睡眠時間が短い生徒が多いように感じます。睡眠不足になると①免疫力が弱まる②ストレス対処能力が低下するなど精神的にも身体的にも影響が出てきます。病気のリスクが少ない睡眠時間は、6時間30分～8時間未満と考えられています。これから冬休みを迎え生活リズムが乱れやすく体調を崩しやすい時期です。規則正しい生活を送り体調管理に努めましょう。



H27年度 二学期保健室来室状況 (H27.8.31～12.11)

		9月		10月		11月		12月		計(人)
		内科	外科	内科	外科	内科	外科	内科	外科	
1年	男子	14	4	11	4	10	12	0	0	55
	女子	26	10	24	10	24	4	1	0	99
2年	男子	22	15	13	16	10	7	9	2	94
	女子	41	5	22	6	10	5	3	0	92
3年	男子	18	16	14	21	13	11	3	3	99
	女子	30	5	20	7	12	4	2	1	81
		151	55	104	64	79	43	18	6	520